

橋本治雜文集成

パンセV

友たちよ!



橋本治

河出書房新社

橋本治雜文集成

パンセV

友たちよ!

橋本治

河出書房新社

橋本治雜文集

パンセV 友たちよ！

一九九〇年五月二一日 初版印刷
一九九〇年五月三一日 初版発行

著者 橋本 治

装幀者 鈴木成一

発行者 清水 勝

発行所 株式会社 河出書房新社

東京都渋谷区千駄ヶ谷二一三二一

電話 営業 〇三ー四〇四ー一二〇一
編集 〇三一四〇四ー八六一一

振替口座(東京) 〇一ー〇八〇二

印刷 三松堂印刷株式会社

製本 小泉製本株式会社

落丁・乱丁本はお取替えいたします

定価はカバー・帯に表示してあります

©1990 Printed in Japan

ISBN 4-309-60395-5

橋本 治(はしもと おさお)
一九四八年東京生れ。東京十
文学部卒業。作家。「桃尻姉
で衝撃的なデビューを飾って
来、小説、評論、エッセイ、
訳にすさまじい健筆ぶりを示
している。主著に「暗夜」「蓮
刀」「ハイスクール八大伝」「
の矢車草」「桃尻語訳 枕草
「男の編み物手トリ足トリ」

目次 CONTENTS

MR. & MRS. & ME ami はなへつらん 17

何でも居心地よくして

撮つてあげたい ami おおくほひさこ 11

よくわかる中学生のための

正しい倫理社会 ami パンタ 16

顔にも流行があるんだってさ、

ふーん ami 小倉千加子 十芹川藍 32

千年前からあたり前の女はいるんだよ ami 真木伊珠美 40

幻の歌舞伎を読む——歌舞伎台本の世界 ami 加納幸和 48

ミュージカルが好き ami 浦谷年良 63

すべての時代は現代に通ず ami 浦谷年良 74

川口姉妹の魅力を語る ami 柳澤健 84

近くてトーク——いつか一緒にミュージカル！ ami 松島トモ子 124

女子大生のための就職人生相談 ami 岡田秀子 140

なんごー!あの草笛光子さんが……♡^{ami}草笛光子 155

レジャーランドで

いいじゃないか——大学幻想は解体されたか^{ami}岸田秀 163

幻想と妄想——自我とつきあう方法^{ami}岸田秀 178

欲望を計算に入れない理性なんて、
もつとつとに死んでいるんだよ……^{ami}戸井十月 192

談論風発^{ami}松枝到 206

第9回日本パロディ展選評座談会²²⁴

^{ami}赤瀬川原平・^{ami}糸井重里・^{ami}川崎徹・^{ami}山藤章・^{ami}二木樓本了彦

ぼくたちにとつての60年代^{ami}小林信彦 250

ビートルズ世代の老人モンダイ²⁷⁹

^{ami}高橋章子・^{ami}南伸坊・^{ami}山口文憲

「ねるとん式青春」の研究^{ami}赤木かん子・^{ami}中森明夫 307

ところで「文化」はこうなつてゐるの^{ami}糸井重里 327

明日を信じて強く生きる^{『泉麻人十つかこうへい』}
357

言いたくて仕方のない行つて

ゼツタイにある^{『中川比佐子』}
382

そして最後に言葉が残る^{『松本隆』}
388

解題Ⅱ「お前の言つてることなんか

よく分かんねーよー」と、遂に私は自分に思った
397

橋本治雜文集成

パンセⅤ

友たちよ!

MR. & MRS. & ME^{ami} おおぐぼひちめい



橋本 この写真集のコンセプトってなんでしょう？

おおぐぼ えーッ!? (笑)。そんなの恥ずかしいじゃない。困ったなア……。

橋本 いいよ、別に本気で聞こうとは思ってないから(笑)。なんかごたごた一杯あったね。

おおぐぼ あった。簡単に本で出来ると思ってたから。

橋本 そうオ? 意外と簡単に出来たんじゃないの、最終的には(笑)。

おおぐぼ こうなったらね(笑)。途中でCHA

BOに越されたしさア。

橋本 去年の今頃だっけ、本やりたいって言って来たの。「二週間で本が出来るわけない」とか、恐ろしいこと言ってたけど。

おおぐぼ ちょうど一年のびたね。八月の三十一日発売だったから、チャボのLP。

橋本 もう一枚LP出せばいいのに。

おおぐぼ そォーン!

橋本 ゴタゴタしてた分、すっきり整理出来たからよかったじゃない。

おおぐぼ それはセンセイのおかげですよ(笑)。

橋本 ヘッヘッヘッ(笑)。でもやつぱりさ、「この写真はすしたら？」って言われたら顔ってピクッてなるでしょ。結構落ちたじゃない、数としては。

おおくぼ 落ちた。だって、もう忘れちゃった写真とかもあるし。

橋本 初め写真が多すぎたんだよね。

おおくぼ 自分だけでやってたからわけが分かんなくて。こういうのってサ、自分だけで作りたいとか思うんだけどサ、最後は人に相談した方がいいもんだって分かって。

橋本 でも、最後の最後はやっぱり自分でやっちゃうじゃない。とりあえずは自分でやってみないと気がおさままない性分でしょ？

おおくぼ そうだけどオ、自分と同じようにいいと思ってほしいというサア(笑)、それで巻き込むの。

橋本 だから、いいって言ってんじゃん(笑)。

おおくぼ あたしねエ、昨日ねエ、自分の写真

のことって考えたことなかったのにねエ、思わず考えてしまったのね(笑)。どういのが好きなんだろう、とか。

橋本 それで苦悶したの？(笑)。

おおくぼ ちようどね、昨日あれ見て来たんだ、『ストレンジャー・ザン・パラダイス』。わりとサ、ちよつと似てる感じとかあったのね。

橋本 写真の？

おおくぼ うん。あたしのつて、強烈なとかサ、見てワツと驚くとかサ、そういうのつて絶対ないじゃん。抜けて行く、とかサ(笑)。それが分かった。刺激的な感じってないじゃない。

橋本 一生懸命刺激って抜いてんのね。

おおくぼ 自分じゃ意識してないんだけど。

橋本 でも、わりと昔、抜いてたよ。

おおくぼ そうオ？

橋本 「これあると、なんかわざとらしくなっちゃうから、この1コだけ抜きたい」とかさ、わりとそれはあったみたい。

おおくぼ 仕草にしてもサ、なんか、つきつめた仕草とかつて好きじゃないじゃん？ そういうのが分かったのね、昨日。汗っばくくない、とかサ。

橋本 でもサ、ワーツと来る強さつてのないうたいに見えるけどサ、「よく見るとこの人つてすごいハードな人じゃない？」つてところはあるよ。

おおくぼ そうオ？ でもボヤツてしてるじゃない、写真が。文章のサ、テンのところがあるじゃない。言つたあとの「……」^{テンテン}。その「テンテン」かなつて。

橋本 「テンテンテン」だけど、しつかりその後^{マル}に「^{マル}がついてんだよね」。

おおくぼ マルがついてるかしら!? そこ考えただんだア。

橋本 だからサア、叙情だけの人だとテンテンテンの流しっぱなしだけどサ、でも絶対それやんないじゃない。一見マルがついてないみたい

だけどサ、「こことこことここにはマルがついてなくちゃイヤ！」とかサ。

おおくぼ はははははは(笑)。それはあるかもしれない(笑)。

橋本 「ここがマルだといやじゃない」とか言つてサ(笑)。「こおいうふうにキチンとして、それで、ここところがポーツと飛んでるんじゃないちゃ、あたしはいやなのよね」つてことをキシツと言つてるところがあるじゃない。普通の人があんまり叙情にしないことを叙情にしちゃう、とかサ。

おおくぼ そうオ？

橋本 ほら、曇り空みたいのを、普通の人が「ユーウツ」とかにしちゃうのをサ、「だつてきれいじゃない？」とかサ。

おおくぼ ああ、ああ、うんうん。

橋本 だからサ、前言つてたじゃない。「誰でもよく撮つてあげたい」とかサ。

おおくぼ うん、それはね、ある！ それとね、

出来るかどうか分かんないけど、ゴミバコ撮ってもきれいに撮りたいって。

橋本 だからゴミ箱に対しても「よく撮ってあげたい」って言ってるんだよね。

おおくぼ そう！ そう！（笑）。

橋本 だから、よく撮れないようなゴミバコは嫌い、とかサ。

おおくぼ そう！ そう！（笑）。

橋本 このゴミバコ、よく撮ってあげようと思つても根性悪いから嫌い、みたいなね。

おおくぼ それは昔っからあるみたいなのね。

橋本 ブーツとあるよオ！

おおくぼ あ、そうオ？（笑）。それは昨日気がついたの。だからあたし、写真出来たらサ、どおとおおいう写真でもサ、たとえば取材に行つて撮つて来ても、その人がサ、それ見たらサ、「あ、よく撮つてもらつたわ」って思ってもらいたいって、それがたかがこれぐらいの小ささにしてもよ（笑）。それがブーツと昔から、続いて

るの（笑）。

何でも居心地よくして 撮ってあげたい ami おおくぼひさし



当り前に女性カメラマン

橋本 最初会ったのは日劇ミュージックホール。加藤登紀子さんのコンサートのカスターのデザインやってくれて話が出て。そしたら写真撮るのがあった。それでリハール中の客のいないミュージックホールで打ち合わせしたんだよね。

おおくぼ そのあとエレックレコードの仕事をいっしょにしたんだよね。私が写真で橋本くん

がデザインして。今はもうないレコード会社なんですけど泉谷しげるとか吉田拓郎とか一時スゴイ勢いで、そのLPジャケットのかなりの数を二人で作っていた頃があったものね。

橋本 その前って一応どこか弟子入りして写真を始めたんでしょう？

おおくぼ 菅洋志さんのとこに拾ってもらって、電話番号で居させてもらって。

橋本 それも短かったんでしょ。初めて会った時にすでにカメラマンになっていた。だから僕なんか当り前に女のカメラマンにいるものだと

思っていた。でもよく考えると意外といなかったんだよね。あとでわかった。

おおくぼ 大学出たてで二十一か二十二だったんですよ。仕事はじめて一年ぐらいたって橋本くんとは会ったと思う。

被写体が息をしやすいようにする

橋本 いっしょに仕事してて、写真見ている身近に写真家がいたから、他の写真とどう違うのかとか考えるのにはすごく便利だった。あなたの写真は最初から日本のカメラマンっぽくなかったね。生活実感がないみたいなのが。苦悶のあととか、前衛に走っちゃうんじゃないかって、当り前にあるみたいなのが。そういう自然な感じがなくなっている。でもいっしょに仕事しているうちに、実はすごいハードに仕事しているなってわかってきたね。芯がハードっていう

か……

おおくぼ 気が強い(笑)。

橋本 そうそう。写真見ていると別に気が強い人の写真とかには全然見えないんだけどね(笑)。モデルになつて撮られた時にはそんなにハードな人だとは思わなかったのに。当り前の瞬間ばかり拾ってるだけにしか、見えなかった。だけど当り前の瞬間撮るのって、撮る前はものすごくハードに構えていなくちゃいけないんだなつて。

おおくぼ 写真って結構作っていくものだと思うんです。写真撮るんじゃないって写真を作っていくみたいな。偶然によく撮れたというのも大事だけどその偶然に近づけていく。橋本クンを撮る時でもあーだこーだ考えて、作って撮るってやり方をしていたし。

橋本 あと、だいたいこういうふうに作ってあげると、被写体の方が息しやすくなって、いい表情が出るだろうなという感じがあって。一〇

〇%作るんじゃないくて、九八%まで作っておいて残りの瞬間で撮るみたいところがあるんだよね、きつと。

おおくぼ うん。モデルになつてもらう人もただ立たされたら、すごく居にくいだろうと思うんだよね。だから、ストーリーの途中の部分を作っておいてあげると、何かそこからみんな自分で把握しながら動いてくれるから、撮りやすくなる。だから仕事だと絵コンテ描いて相手に見せて、ちゃんと納得してもらわないと撮り始められない。途中で違つて言われるのがすごく嫌いだから。そういうところははずつと変わらないみたい。

ゴミ箱も可愛く撮ってあげたい

橋本 被写体をリラックスさせるためにカメラマンがしゃべるのつてあるじゃない。しゃべらない方でしょ？

おおくぼ そうだね。必要なこと以外はほとんどしゃべらない。シャッター切ると呼吸みたいなものだから、シチュエーション決めて、そこでうまくのつてもらう。じつと待っているわけにいかないしね。

橋本 シャッター切るのつて呼吸なんだつて、撮られたらわかるね。シャッター切るときはじつとしてろとか、気取つてろとかじゃないつて。**おおくぼ** 私はモデルに何をしたらいいのかわからない状態にさせておくのがいいなの。

橋本 前に話した時に言つてた「ゴミ箱でもかわいく撮ってあげたい」つて。

おおくぼ うん。居心地よくしてあげて、いい表情になつてもらつて、それをよく撮ってあげたいなあつて。

橋本 被写体にあんまり肉迫しないんだよね。

おおくぼ 以前、ステージを最初に撮った時なんか迫力ないつて言われた。

橋本 あるところまで肉迫するような線に持つ

で行って、フツとひいちゃうみたいなのがあるでしょ。

おおくぼ ステージの写真でも、攻めていつて撮るみたいのは好きじゃないし、ワーツとなっている感じのもわりと避けちゃう。ありのまんにそのまま近づいて撮るのはだめみたいね。

全部 おおくぼ ひきこです

橋本 カメラマンやってることに特別の自覚なんてある？

おおくぼ ない(笑)。

橋本 カメラマンやってて別の自分がいるという感じじゃないものね。はじめからカメラマンのおおくぼひきこがいて、全部その中に収まっているようなもんだから、別の人格がいるみたいな感覚ないもんね。仕事終わったら、カメラマンやめますというのとも違うし。

おおくぼ そうね。今度イメージビデオみたい

な仕事の話があるんだけど、写真で構成していつて好きな音楽選んでいいって言うから、面白いからやってみようかなって。考えてみると、そういう仕事ができるのって楽しい。

私は文章書けるわけじゃないし(笑)、しゃべるわけじゃないし、写真ってね、私にとっては一番ストリートに気持ちが出てくる。写真ってキレイだし。

女であるより撮った写真が問題

橋本 特別に女性のカメラマンだからどうのとかないでしょ。女性だからどうのというより、撮った写真がどうこうの方が多いでしょ。わりと一般的なカメラマンの問題と同じでしょ。

おおくぼ そう。女だということでどうというのはなかった。ミーティングとかしてて、アレツて気がいたら女は私だけだったというのはあったけど。まわりはミュージシャンが多かった